

第134回文化審議会文化財分科会議事要旨

開催日 平成25年2月27日(水) 14:00～16:00

場 所 文化庁特別会議室(旧文部省庁舎5階)

出席者 委 員 鈴木会長、石上委員、河東委員、神崎委員、森西委員
文化庁 長官、次長、文化財部長、文化財鑑査官
伝統文化課長、美術学芸課長、記念物課長、参事官、文化財保護
調整室長、その他関係官

1. 文化庁異動者紹介

2. 前回議事要旨確認

3. 諮問・答申

①国宝・重要文化財(美術工芸品)の指定等について(報告・答申)

美術学芸課長から、1月18日に諮問のあった国宝・重要文化財(美術工芸品)の指定等について、2月14日～16日に開催された第一専門調査会における調査の報告があり、審議の結果、別紙のとおり答申がなされた。

②国宝・重要文化財(美術工芸品)の現状変更の許可について(報告・答申)

美術学芸課長から、1月18日に諮問のあった国宝・重要文化財(美術工芸品)の現状変更の許可について、2月14日～16日に開催された第一専門調査会における調査の報告があり、審議の結果、別紙のとおり答申がなされた。

③重要文化財(建造物)の現状変更の許可について(報告・答申)

参事官(建造物担当)から、1月18日に諮問のあった重要文化財(建造物)の現状変更の許可について、1月29日に開催された第二専門調査会における調査の報告があり、審議の結果、別紙のとおり答申がなされた。

④史跡等の現状変更の許可等について(諮問・答申)

記念物課長から、史跡等の現状変更の許可等について説明があり、審議の結果、別紙のとおり答申がなされた。

⑤史跡等の現状変更の許可について(報告)

会長から、2月8日に決定した史跡等の現状変更の許可について別紙のとおり報告があり、記念物課長から、内容について説明があった。

4. その他

・平成25年度文化庁予算(案)の概要について(報告)

伝統文化課長から、平成25年度文化庁予算(案)の概要について説明があった。

3-① 国宝・重要文化財（美術工芸品）の指定等について

一 重要文化財を国宝に（一件）

彫刻の部（一件）

名称及び員数	所有者
木造騎獅文殊菩薩及脇侍像 ^{快慶作} 四軀 文殊菩薩像内に建仁三年十月、南無阿弥陀仏、 巧匠安阿弥陀仏等の銘がある 附一、仏頂尊勝陀羅尼・文殊真言・文殊種子 一卷 奥に承久二年、病比丘空阿弥陀仏 の記がある 附二、木造最勝老人立像 ^{宗印作} 一軀 像内に住吉大明神也、慶長十二年、 南都大仏師宗印等の銘がある	宗教法人文殊院

二 右項重要文化財と中項重要文化財を統合し、左項国宝に（一件）

彫刻の部（一件）

項	名称及び員数	所有者
右	木造阿弥陀如来坐像 一軀	宗教法人願成就院
中	木造不動明王及二童子立像 三軀 木造毘沙門天立像 一軀 附 木造五輪塔形銘札 四枚	宗教法人願成就院
左	木造阿弥陀如来坐像 ^{運慶作} 一軀 木造不動明王及二童子立像 ^{運慶作} 三軀 木造毘沙門天立像 ^{運慶作} 一軀 附 五輪塔形木札 四枚 各に五大種子、梵字宝篋印陀羅尼 及文治二年五月、巧師勾当運慶、 檀越平時政、執筆南無観音等の 記がある	宗教法人願成就院

三 右項重要文化財に中項未指定文化財を追加し、左項国宝に（一件）

書跡・典籍の部（一件）

--	--	--

項	名称及び員数	所有者
右 右	醍醐寺聖教類 四万六百七十六点	宗教法人醍醐寺
右 左	醍醐寺文書 一万六千四百三通	宗教法人醍醐寺
中	醍醐寺聖教類 一万二千二百九十九点	宗教法人醍醐寺
左	醍醐寺文書聖教 六万九千三百七十八点	宗教法人醍醐寺

四 右項重要美術品を左項重要文化財に（四件）
 絵画の部（一件）

項	名称及び員数	所有者
右	紙本金地著色四季松樹圖 狩野探幽筆 六曲屏	一雙 宗教法人大本山大徳寺
左	紙本金地著色四季松図 狩野探幽筆 六曲屏風	一雙 宗教法人大本山大徳寺

工芸品の部（一件）

項	名称及び員数	所有者
右	破笠細工柏木菟圖料紙管 破笠作	一合 公益財団法人出光美術館
左	柏木菟蒔絵料紙箱及春日野蒔絵硯箱 小川破笠作	一具 公益財団法人出光美術館

書跡・典籍の部（二件）

項	名称及び員数	所有者
右	土御門天皇御歌集	一帖 学校法人日本大学
左	土御門院御集	一帖 学校法人日本大学

二	右	紙本墨書古今集巻第一断簡（高野切）（寛平の）	一幅	公益財団法人 出光美術館
	左	古今和歌集巻第一断簡（高野切） （寛平の）	一幅	公益財団法人 出光美術館

五 未指定文化財を重要文化財に（四十六件）

絵画の部（九件）

	名称及び員数		所有者
一	紙本金地著色源氏物語図 土佐光吉、長次郎筆	四帖	独立行政法人 国立文化財機構
二	絹本著色阿弥陀聖衆来迎図	一幅	宗教法人常光院
三	絹本著色阿弥陀聖衆来迎図	一幅	大本山善光寺 大本願
四	絹本著色後陽成院像 狩野孝信筆	一幅	宗教法人泉涌寺
五	紙本墨画老松図 長谷川等伯筆 襖貼付 紙本墨画猿猴捉月図 長谷川等伯筆 襖貼付	六面 四面	宗教法人金地院
六	絹本著色親鸞聖人絵伝	六幅	宗教法人本願寺
七	紙本金地著色源氏物語図 土佐光吉筆 （光源氏手鑑）	八十枚	和泉市
八	絹本著色聖徳太子勝鬘経講讃図	一面	宗教法人法隆寺
九	紙本墨画老子像 牧谿筆 「道有」の鑑蔵印がある	一幅	岡山県

彫刻の部（九件）

	名称及び員数	所有者
一	<p>木造地蔵菩薩坐像^{院誉作} 像内に元亨四年二月、慈仙、仏子院誉等の銘がある 附 像内納入品</p> <ul style="list-style-type: none"> 一、地蔵菩薩印仏 十一通 一、金剛般若経（二部） 二卷 各の奥に元亨四年二月の記がある 一、法華経 八卷 奥に元亨四年正月、同二月、慈仙、 小河寺等の記がある 一、法華経提婆達多品 一卷 一、薬師経・宝楼閣経・般若心経 一卷 元亨四年正月の記がある 一、宝楼閣経 一卷 一、略法華経 一卷 一、金剛般若経偈 三通 内一通に元亨四年七月等の記がある 一、法華経偈・雑阿含経偈 一通 一、光明真言 一卷、一通 内一通に元亨四年六月、慈仙の記が ある 一、錫杖（三部） 三卷 一、願文・結縁交名等 十八点 元亨四年六月、同七月等の記がある 一、毛髪・切爪包 十五裹 	一軀 宗教法人長福寺
二	木造観音菩薩立像	一軀 宗教法人青蓮寺
三	木造浅間神像 附 木造宮殿	一基 二基 宗教法人浅間神社
四	木造天王立像	一軀 宗教法人天満神社
五	木造中巖円月坐像	一軀 宗教法人霊源院
六	木造阿弥陀如来立像 附 阿弥陀如来印仏（八十一通） 紙背藤原親行書状等	一軀 八綴 宗教法人大通寺
七	銅造釈迦多宝如来坐像	二軀 宗教法人東大

			寺
八	木造能狂言面	三十面	宗教法人天河神社
九	木造摩多羅神坐像 覺清作 像内に嘉暦四年、雲州清水寺常行堂 摩多羅大明神、仏師南都方法橋覺清 等の銘がある	一軀	宗教法人清水寺

工芸品の部（六件）

	名称及び員数		所有者
一	檜垣文壺 ^{信楽}	一口	国
二	黒楽茶碗（ムキ栗） ^{長次郎作}	一口	国
三	黒綸子地若松紅葉鹿小花文様絞繡小袖	一領	独立行政法人 国立文化財機構
四	葛川明王院御正体 一、不動明王及二童子像 内四面の各裏面に明德三年、明德四年、 応永三年、応永十三年の墨書銘、一面の 表に応永二年の刻銘がある 一、宝塔 裏面に文安四年の墨書銘がある 附 御正体 内一面の裏面に明德四年の墨書銘がある	五面 一面 五面	宗教法人明王院
五	九条袈裟 ^{田相黄山道文綾} 条葉紺繡子地諸尊花鳥文刺繡	一領	宗教法人天授庵
六	色絵山水竹鳥文輪花大皿 ^{鍋島} 附 色絵山水竹鳥文輪花大皿 ^{景德鎮}	一枚 一枚	財団法人鍋島 報効会

書跡・典籍の部（四件）

	名称及び員数		所有者
一	松尾社法楽和歌	一卷	国

	観応二年九月十一日足利尊氏外三筆		
二	新修浄土往生伝巻上、下 大治三、五年書写奥書	二帖	国
三	法華経 建治二年八月四日宗性願文	八卷	独立行政法人 国立文化財機構
四	新修浄土往生伝巻下 保元三年六月十七日弁昭書写奥書	一帖	宗教法人東大寺

古文書の部（五件）

	名称及び員数		所有者
一	嘉元記	一冊	独立行政法人 国立文化財機構
二	万昆嶋主解 天平宝字二年七月廿八日 紙背写千卷経所食物用帳	一通	独立行政法人 国立文化財機構
三	安祥寺資財帳 至徳二年七月日賢宝書写奥書	一卷	国立大学法人 京都大学
四	細川家文書（二百六十六通） 附 文書箱 四合	十一巻、二十三幅、二冊、 百八十通	公益財団法人 永青文庫
五	豊前国宇佐宮絵図	一幅	宗教法人宇佐 神宮

考古資料の部（九件）

	名称及び員数	所有者
一	北海道船泊遺跡出土品 一、骨角牙貝製品 七百五十五点 一、土器 四点 一、石器・石製品 十四点 (以上墓坑群出土) 一、骨角牙貝製品 二十二点 一、土器 五点	礼文町

	一、石器・石製品 一、骨角牙貝製品 一、土器 一、石器・石製品	百七点 (以上作業場跡出土) 三百七十四点 三十三点 三百二点 (以上包含層出土)	
二	新潟県村尻遺跡出土品 一、土偶形容器 一、土器 一、骨垂飾 附 石片	一点 十四点 二点 一点	新発田市
三	山梨県酒呑場遺跡出土品 一、土器・土製品 一、石器・石製品	四百六十三点 二百二十点	山梨県
四	静岡県明ヶ島古墳群出土土製品 附 土製品残欠	千六十四点 一括	磐田市
五	岐阜県元屋敷陶器窯跡出土陶器	三百九十点	岐阜県
六	岐阜県元屋敷陶器窯跡出土品 一、陶器 一、窯道具・窯材 (以上元屋敷東一号窯跡出土) 一、陶器 一、窯道具・窯材 (以上元屋敷東二号窯跡出土) 一、陶器 一、窯道具・窯材 (以上元屋敷東三号窯跡出土) 一、陶器 一、窯道具・窯材 (以上元屋敷窯跡出土) 一、陶器 (以上美濃陶祖奉賛会発掘調査出土)	二百八十一 七十六 二百五十六 百十六 百四十八 六十 四百五十五 九十六 五百五十三 (以上美濃陶祖奉賛会発掘調査出土)	土岐市
七	鷗尾 附 須恵器 滋賀県山ノ神四号窯跡出土	四箇 三点	大津市
八	兵庫県茶すり山古墳出土品 一、金属製品	五百点	朝来市

	一、玉 四十一 一、漆製品残欠 十七 (以上第一主体部出土) 一、金属製品 七十二 一、玉 二十 一、壺 二 (以上第二主体部出土) 一、埴輪 十二 (以上埴丘出土)	
九	長崎県原の辻遺跡出土品 一、土器・土製品 七百十一 一、木器・木製品 百十四 一、石器・石製品 四百三十 一、ガラス製品 五十三 一、金属製品 三百十六 一、骨角製品 四十六	壱岐市

歴史資料の部（四件）

	名称及び員数	所有者
一	東京大学史関係資料 千九十三	国立大学法人 東京大学
二	蕪山代官江川家関係資料 一、文書・記録類 三万三千六百六十三 一、著述稿本類 四百三十 一、和書・漢籍類 三千五百七 一、訳書類 三百六十六 一、洋書類 百四十四 一、書画類 百四十二 一、武器・武具類 四十一 一、器物類 二百八十八	公益財団法人 江川文庫
三	江川家関係写真 四百六十一	公益財団法人 江川文庫
四	岩倉具視関係資料 千七百七	宗教法人平等 大慧会

六 右項重要文化財に中項未指定文化財を追加し、左項重要文化財に（一件）
彫刻の部（一件）

--	--	--

	名称及び員数		所有者
右	木造日光月光菩薩立像 (所在本堂)	二軀	宗教法人大善寺
中	日光菩薩像内納入品 一、薬師如来印仏 (二十五通) 正応五年の記がある 一、薬師如来印仏 一、十一面観音印仏 一、墨書紙片・紙礫等	一綴 六卷 五卷 一括	宗教法人大善寺
左	木造日光月光菩薩立像 (所在本堂) 附 日光菩薩像内納入品 一、薬師如来印仏 (二十五通) 正応五年の記がある 一、薬師如来印仏 一、十一面観音印仏 一、墨書紙片・紙礫等	二軀 一綴 六卷 五卷 一括	宗教法人大善寺

七 右項重要文化財の員数を左項に (二件)
彫刻の部 (一件)

	名称及び員数		所有者
右	銅造阿弥陀如来及脇侍像 ^{康勝作} (所在金堂) 光背に貞永元年八月、大勸進僧観俊、 大仏師法橋康勝、銅工平国友等の銘がある 附 像内納入品 一、万坏供養摺札 一、阿弥陀如来及両脇侍摺仏	二軀 二百二十五枚 百一枚	宗教法人法隆寺
左	銅造阿弥陀如来及脇侍像 ^{康勝作} (所在金堂) 光背に貞永元年八月、大勸進僧観俊、 大仏師法橋康勝、銅工平国友等の銘がある 附 像内納入品 一、万坏供養摺札 一、阿弥陀如来及両脇侍摺	二軀 三百二十五枚 百三枚	宗教法人法隆寺

歴史資料の部 (一件)

	名称及び員数	所有者
--	--------	-----

右	岩倉具視関係資料 一、書状、記録、詠草類 四十七点 一、遺品類 三十一點 一、伝記編纂関係資料 九百三十三点	財団法人岩倉 公旧蹟保存会
左	岩倉具視関係資料 一、書状、記録、詠草類 四十七点 一、遺品類 三十点 一、伝記編纂関係資料 九百四十一點	財団法人岩倉 公旧蹟保存会

3-②国宝・重要文化財（美術工芸品）の現状変更の許可について（報告・答申） 4 件

3-③重要文化財（建造物）の現状変更の許可について（報告・答申） 4 件

3-④史跡等の現状変更の許可等について（諮問・答申）

史跡に係るもの 65 件
 名勝に係るもの 42 件
 天然記念物に係るもの 38 件

3-⑤史跡等の現状変更の許可について（報告）

史跡に係るもの 3 件
 名勝に係るもの 5 件
 天然記念物に係るもの 1 件